

小平市議会定例会 一般質問通告書

再質問の方式 一問一答方式

質問件名 さまざまな子育て家庭を支えていくために一時保育の充実を

【質問要旨】

保育を必要とする事由のある世帯は保育園に入園できますが、保育園を利用していない親は幼稚園等に入園させるまでは常に子どもと過ごすこととなります。現在の子育ては核家族化が進み、育児の孤立化が顕著になってきています。また、育児を手伝ってほしい親も高齢化し、ともすると親の介護をしなければならない状態も考えられます。そのような中、自分が病気になった時、急用ができた時、リフレッシュしたい時に頼りになるのは公的支援では一時預かり保育やファミリーサポートセンター事業などです。

子育ては決して一人で頑張るものではなく、たくさんの大人や地域で心身を育んでいくことが大切です。子育てに不安や疲れを感じた時に頼れる存在が身近にあり、一緒に考えてくれリフレッシュできることは核家族化が進んだ今の時代にどんなにか頼りになるのでしょうか。

小平市子ども子育て支援事業計画策定時に行ったニーズ調査によるとファミリーサポートセンター事業や一時預かり事業のニーズは年々高まっています。その一方で予約が取りづらい、使いづらいという声も聞こえてきます。

小平市子ども子育て支援事業計画では、「みんなですくすく 感動子育て 笑顔があふれるまち こだいら」を基本理念にかかげ、基本的な視点として「様々な子育て家庭を支える視点」「安全・安心な子育てができる環境を作る視点」「地域で子育てを支える視点」が大切としています。これらの視点が一時預かり事業に活かされているか以下質問します。

- ① 過去3年間の保育園で実施している一時預かり保育の利用状況を教えてください。
- ② 保育園で実施している一時預かりを利用する人の事由で多いのは何ですか。また、理由を問わず利用できることが周知されていますか。
- ③ キャンセルが多いと聞いていますがその理由と解決策は。
- ④ 市のホームページ上で一時預かり保育施設の空き状況を公開することを提案しますが市の見解は。
- ⑤ 保育園で実施している一時預かり利用者は必要に応じて悩みなど相談できるような体制になっていますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2018年5月28日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 山崎 とも子

受付番号【 】

27	26	25	24

-(/)